

各報道機関 様

KJ00724972

2026年10月15日

発信課	社会教育部文化振興課彫刻美術館
担当者	高橋 伸
連絡先	電 話 0166-46-6277
	F A X 0166-46-6288
	E-mail sculpture_mus@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和8年11月1日 13時30分 ～ 令和8年11月1日 16時00分
発表項目 (行事名)	映画『甘露水』上映会
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	＜映画『甘露水』上映会＞ 内容 中原悌二郎らが活躍した日本近代彫刻の黎明期に日本で彫刻を学んだ台湾の彫刻家・黄土水の代表作《甘露水》をテーマにした映画作品を鑑賞します。 日時：令和8年11月1日（日）午後1時30分～午後4時 会場：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 研修室（春光5条7丁目） 対象：高校生以上 定員：30人（事前申込・先着順） 料金：無料 申込：10月15日（木）から申込フォームにて受付 (https://logoform.jp/form/iLZf/1706741) 詳細：彫刻美術館 TEL46-6277
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道（取材）に当たってのお願い	取材を希望される場合は事前にご連絡ください。
備 考	

旭川市彫刻美術館
映画上映会

映画『甘露水』の特別
上映会を開催します

中原悌二郎らが活躍した日本の近代彫刻の黎明期に、台湾出身者初の東京美術学校（現・東京芸術大学）留学生として彫刻を学び、活躍した彫刻家・黄土水の代表作《甘露水》をテーマにした映画作品の鑑賞会を旭川市彫刻美術館にて開催いたします。

2026年11月1日（日）
13:30～16:00

会 場：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 1階研修室
(旭川市春光5条7丁目)

对 象：高校生以上

定 員：30名（事前申込・先着順）

参加費：無料

主 催：合同会社ジルサンス

共催：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

申 込：10月15日午前9時～

右記の二次元コードより申込

※定員になり次第締め切り

お問い合わせ：旭川市彫刻美術館（0166-46-6277）



1958年以降、長らく行方が分からなくなっていた彫刻作品《甘露水》。約60年もの時を経た2021年、その存在は奇跡的に確認されました。長年作品を大切に保管していた医師・張鴻標氏のご家族によって台湾政府へ返還され、現在は国立台湾美術館に収蔵されています。2023年2月には台湾の国宝にも指定されました。

この《甘露水》を制作したのは、台湾近代美術を代表する彫刻家・黄土水（1895～1930）です。台湾出身者として初めて東京美術学校（現・東京藝術大学）へ留学し、近代台湾美術の礎を築いた芸術家として高く評価されています。2024年には東京藝術大学で特別展も開催され、その功績が改めて注目されました。

本作は、『甘露水』を軸に黄土水の人生と作品の歩みを見つめ直すドキュメンタリーです。監督の林君昵氏と黃邦銓氏は、日本留学時代の足跡をたどるとともに、戦後に作品を所蔵していた山中・張家を訪問。16mmフィルムならではの繊細で美しい映像を通して、一つの芸術作品が受け継がれてきた歴史と、その背景にある時代の変遷を丁寧に描き出しています。

さらに、黄土水の日本留学時代をひもとく貴重な資料を旭川出身・在住のアーティストSIONが所蔵していたことが両監督との縁となり、本作の完成へとつながりました。SIONは映画にも出演し、挿入歌も担当しています。

★『甘露水』《ドキュメンタリー映画》

2025年／142分／台灣

原題：『甘露水』

英題：Daughter of Nectar

監督：林君昵、黃邦銓

©2024 Kiki Kunjo Production All Right Reserved



旭川市彫刻美術館へのアクセス



■バス(旭川電気軌道バス)をご利用の場合
旭川駅前バスタッチより4番のりばから
春光バスセンター行(5番・80番・522番)
いずれも「春光園前」下車(所要時間約25分)

■お車をご利用の場合
旭川駅前から約20分
道央自動車道 旭川鷹栖ICから約10分
※無料駐車場有り(7台)

■タクシーをご利用の場合
旭川駅前から2,110円程度



中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-46-6277 Fax 0166-46-6288

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/sculpture>

